

学 科	保育臨床専攻	担当教員名	土井 貴子		
授 業 科 目	子どもの人権教育論	科目区分	専門科目	2 単 位	
必修・選択	必修	授業形態	講義	開 講 時 期	1 年次・前期
授業の主題 目 標	<p>本授業では、前半で子どもの権利条約に示される子どもの人権について概説します。後半では、子どもの権利のなかでも教育・保育に関わる権利を取り上げ、考察します。最後に、世界の子どもたちの保育や生活について調べ、人権の観点から考察しまとめ、発表してもらいます。子どもだからこそ独自の権利があるという考え方は、歴史のなかで生み出されてきたものです。子どもの人権の歴史や理念を理解し、その現状を把握し課題について考えます。</p> <p>到達目標は以下の2つです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利について理解し、基本的な知識を得る。 ・子どもの人権を守ることについて考えることができる。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 人権とは何か？ 2. 人権の理念と歴史 3. 歴史のなかの子ども—児童労働との関係から— 4. 子どもの権利の思想的基盤 5. 子どもの権利とは？ 6. 子どもの権利をどうとらえるか 7. 子どもの権利—最善の利益・発達— 8. 子どもの権利—教育— 9. 権利からみた学校へ行かないこと・行けないこと—講義— 10. 子どもの権利—生活水準・学校給食をめぐる— 11. 子どもの権利—虐待と分離— 12. 子どもの権利—少年犯罪と少年法— 13. 子どもの権利委員会 14. 子どもと人権—発表— 15. まとめ <p>定期試験は実施しない</p>				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	<p>必要に応じてプリントを配付します。</p> <p>テキスト：文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館，2018年</p> <p>参考書：木附千晶・福田雅章『子どもの権利条約ハンドブック—子どもの力を伸ばす』自由国民社，2016年</p> <p>日本弁護士連合会子どもの権利委員会『子どもの権利ガイドブック第2版』明石書店，2017年</p> <p>渋谷秀樹，赤坂正浩『憲法〈1〉人権 第6版』有斐閣，2016年</p>				
準備学習の 具体的内容	参考書にあげている『子どもの権利ガイドブック』の総論を授業開始までに読み、まとめましょう。				
評価の方法 基 準	<p>レポート(60%)</p> <p>課題(30%)</p> <p>コメント・ペーパー(10%)</p> <p>等により総合的に評価します。</p>				
履 修 上 の 注 意	なし				